

# 図書だより

2025年7月5日 第04号  
シンガポール日本語補習授業校

## おすすめ 岩波少年文庫の紹介



皆さんは、「岩波少年文庫」というシリーズをご存知ですか。創刊 75 年という歴史あるシリーズで、補習校の図書室には、約100冊の蔵書があります。

外国文学が多く、往年からよく知られている作品が、小中学生向けの文字の大きさ・手に取りやすいサイズで収録されています。

自分好みの一冊を見つけて、ぜひ読んでみてください！



## ☆川田校長先生にオススメの一冊を聞きました！



### 冒険したくない？

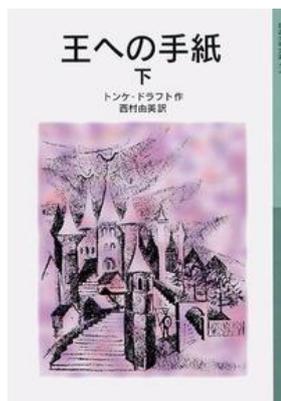
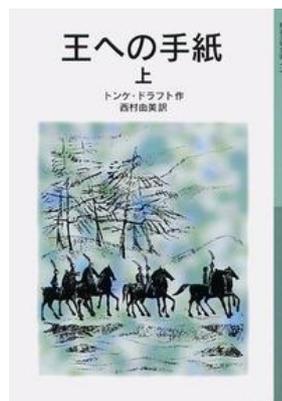
私は本屋が大好きです。今や読みたい本はオンラインでピンポイントに購入できる便利な時代ですが、未知との出会いを求め、楽しむならば圧倒的に本屋です。

目標に向かって一直線に進むのではなく、寄り道にこそ意義があると思っている、そんな私がお薦めするのは、「岩波少年文庫」というシリーズです。この文庫の歴史は古く、創刊されたのはなんと 1950 年。これまで世界中の児童文学の中から選りすぐった作品を発売してきました。なので、この文庫の全ての作品が読み応えのあるすごい作品であり、読者の将来に影響を及ぼす可能性のあるものばかりです。

そんな作品群に優劣を付けるのは難しいのですが、あえて私が一冊だけ選ぶとしたら、**トンケ・ドラフト作「王への手紙」**になります。あなたは、頭の中であらゆる冒険をすることになります。そして読み終えた後、自分が少しだけ大人になったことを実感するでしょう。この作品は中学生向けです。このシリーズは「中学以上」とか「小学3・4年以上」とか、対象の目安となる学年が明記されてあるのも本を選ぶ際の参考になります。

私のお薦めに限らず、ぜひこのシリーズの一冊を手に取り、読み進めてほしいです。読み終えた時、あなたの心は少しだけ大きく強くなっているはずですよ。

川田知宏



『王への手紙（上）・（下）』  
 騎士になるための最後の試練の夜に、思いがけず重大な使命を与えられた少年ティウリは、隣国へと旅立つ。謎めいた隠者、陰険なスパイ……手に汗にぎる、オランダの人気冒険小説。

<[岩波書店HP](#)より>

☆『岩波少年文庫』は、対象学年がわかるようになっています。

●小学校中学年向け  
 （3、4年生～）

●小学校高学年向け  
 （5、6年生～）

●中学生向け  
 （中1～中3生）

※本の背表紙に、対象学年が書かれています。選ぶ際の参考にしてみてください😊

学校でも、お祭りでも、ピッピが顔を出すと、いつもゆかいな大さわぎがおこります。ある日、行方不明だったピッピの父エフライム船長がごたごた荘に帰ってきて、二人は感激の再会をしました。世界一強い女の子ピッピの第2話。

●小学3・4年以上

なぞめいたおとなりさん。宝物の秘密の貝。子どもの日常生活におきる、小さいけれど忘れがたいふしぎなできごとのかずかず。『トムは真夜中の庭で』の作者による、夢と現実の世界を行き来する印象的な8つの短編をおさめる。

●小学5・6年以上

人々から信頼されている医師ジーキル博士は、暗い欲望にとらえられ、自ら発明した秘薬によって別の人物に変身する。が、くり返し変身を試みるうちに恐ろしい破局が……。人間の善と悪をみごとに描き、二重人格の代名詞にもなった古典。

●中学以上

☆他にもこんな本があります！



☆ぜひ読んでみてください☆

図書日よりではこれからもおススメの本を紹介していきます。お楽しみに！